

# 第18回

'07選抜女子駅伝  
北九州大会

□ 期 日 / 2007年1月21日 (日)  
□ コース / 小倉北区・小倉城歴史の道一  
八幡西区・北九州プリンスホテル  
折り返し 32.8km

一般の部 5区間 高校の部 6区間

## 順位

### 一般の部

1	ワコール(京都)	1° 44'02"
2	九電工(福岡)	1° 46'06"
3	OKI(宮崎)	1° 46'10"
4	TOTO(福岡)	1° 47'58"
5	十八銀行(長崎)	1° 48'24"
6	デオデオ(広島)	1° 49'58"
7	北九州市一般選抜(福岡)	1° 51'27"
8	パナソニック(神奈川)	1° 51'53"
9	環微研(大分)	1° 56'07"

### 区間賞

第1区(4.2km)	西山 弥生(ワコール)	13'28"
第2区(5.9km)	K・セリー・チェビエゴ(九電工)	★18'12"
第3区(5.1km)	宮内 宏子(OKI)	☆15'58"
第4区(5.9km)	湯田 友美(ワコール)	19'19"
第5区(11.7km)	福士加代子(ワコール)	36'04"

★は区間新、☆は区間タイ

### 高校の部

1	須磨学園(兵庫)	1° 48'13"
2	筑紫女学園(福岡)	1° 48'19"
3	立命館宇治(京都)	1° 49'07"
4	諫早(長崎)	1° 49'36"
5	戸畑商業(福岡)	1° 50'15"
6	熊本信愛女学院(熊本)	1° 51'05"
7	神村学園(鹿児島)	1° 51'15"
8	興譲館(岡山)	1° 51'24"
9	鳥取中央育英(鳥取)	1° 52'10"
10	山田(高知)	1° 53'43"
11	小林(宮崎)	1° 54'02"
12	世羅(広島)	1° 56'58"
13	済美(愛媛)	1° 57'29"
14	西京(山口)	1° 58'29"
15	柳川(福岡)	1° 59'18"
16	北九州市高校選抜(福岡)	2° 00'30"
17	名護(沖縄)	2° 01'58"

### 区間賞

第1区(4.2km)	小林祐梨子(須磨学園)	☆13'14"
第2区(5.9km)	友枝 美里(戸畑商)	19'02"
第3区(5.1km)	今田麻里絵(戸畑商)	★16'06"
第4区(5.9km)	柴原 杏梨(須磨学園)	20'11"
第5区(4.9km)	金子 千夏(筑紫女学園)	16'39"
第6区(6.8km)	中村 紀子(筑紫女学園)	21'25"

★は区間新、☆は区間タイ



4区で先行する九電工・森川早矢香をかわす、ワコール・湯田友美

## 一般の部

### 湯田が快走 ワコール2連覇 大会記録にあと13秒

ワコールが2年連続3回目の優勝を飾った。4区の湯田友美が先行する九電工をかわしてトップに立ち、アンカーの福士加代子が余裕の逃げ切り。歴代2位の好タイムだった。

ワコールは1区の西山弥生が一般トップでタスキ渡し。一時は3位まで順位を落としたが、4区の湯田がスタート直後に2位・OKIを捕らえ、4.5km付近で九電工を逆転。アンカーの福士も区間賞を取り、大会記録に13秒に迫る好タイムで2連覇のゴールテープを切った。

九電工は2区でK・セリー・チェビエゴが区間新の快走で2位に43秒の差をつけ、4区途中までトップを走ったが、リードを守れなかった。OKIは2区の宮内洋子が区間2位、3区の宮内宏子が区間タイと力走したが、トップをうかがえぬまま3位。TOTOはアンカーのジョセフィン・ワイリムが順位を上げて4位、昨年3位の十八銀行は1区で出遅れて5位に終わった。

湯田友美・ワコール4区 「(目標より30秒遅く) やっちゃいました。福士さんに頼ってばかりいてはダメと頑張ったんだけど……」

福士加代子・ワコール5区 「(大会記録に13秒及ばず、新記録でのプレゼント『休みの1日延長』を逃して) もう一回、走らせてー」

永山忠幸・ワコール監督 「うちは常に前の年を上回ることが目標。今度は福士をアンカーから外して大会記録を狙います」

## 高校の部

### 須磨学園が史上初の4連覇 筑紫女学園を6秒差で降す

全国高校駅伝王者の須磨学園が選手層の厚さを生かし、5区で逆転、筑紫女学園を6秒差で降し、大会史上初となる4年連続4回目の優勝を果たした。

1区でエースの小林祐梨子が2km付近から一気にペースを上げて集団を引き離し、昨年の自らの区間記録に並ぶ好タイムで飛び出した。しかし、2区の高吉理恵は故障の影響で3位に後退、一時はトップの戸畑商に20秒離れたが、4区・柴原杏梨の区間賞の走りでも5秒差に。5区の2km付近で、広田愛子がトップに立ち、逃げ切った。

1区で8位と出遅れた筑紫女学園は、5区・金子千夏、アンカー中村紀子の連続区間賞で追いついて2位。3位には堅実なタスキリレーを見せた立命館宇治が入り、4位は諫早。地元の戸畑商は2区の友枝美里、3区の今田麻里絵が連続区間賞。今田は区間新の力走で、5区途中までトップに立ったが、終盤に失速して5位に終わった。

小林祐梨子・須磨学園1区 「監督からはスパートが一番いいのはラスト1kmと言われていましたが、我慢できませんでした」

柴原杏梨・須磨学園4区 「ラスト1kmを意識していました」

長谷川重夫・須磨学園監督 「小林は一段とレベルが上がった。柴原は(前半) 自重し過ぎ。この辺が課題です」



4連覇のゴールテープを切る須磨学園の難波侑子